ちょっぴり困っている子どもたちの理解と支援

2025年6月27日
大学院人文学研究科障害心理学専攻
児童教育専攻
増本利信

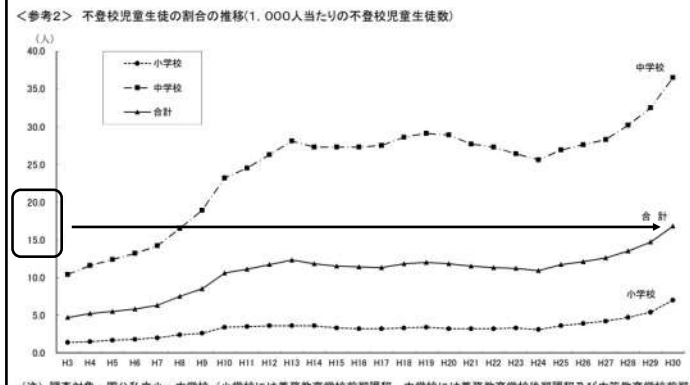
1

特別支援教育に学校全体で取り組む目的とは

⇩

みんなが安心して
登校できる学校に

2

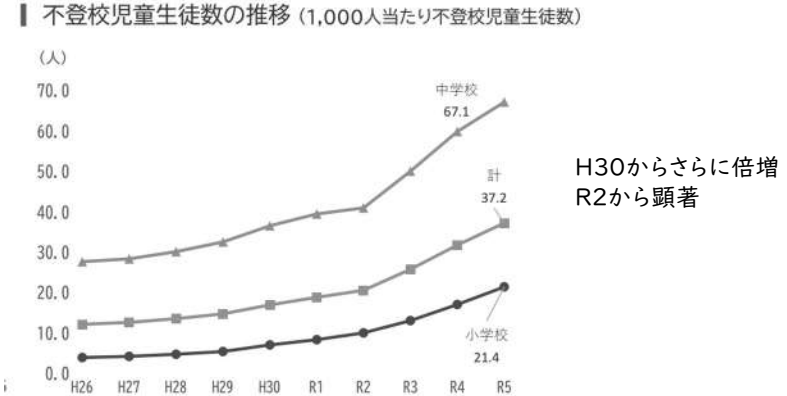


（注）調査対象：国公私立小・中学校（小学校には義務教育学校前期課程，中学校には義務教育学校後期課程及び中等教育学校前期課程，高等学校には中等教育学校後期課程を含む。）

児童生徒100人あたり1人から2人の割合で不登校

平成30年度　児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について：文部科学省初等中等教育局児童生徒課,令和元年10月

3



H30からさらに倍増
R2から顕著

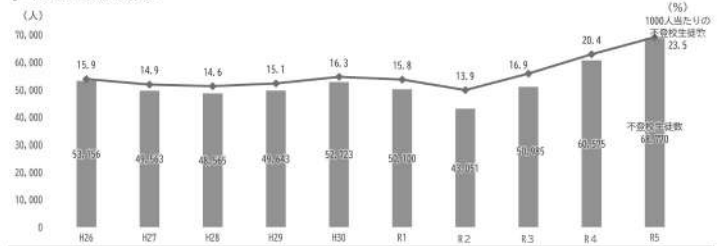
令和5年度児童生徒の問題、行動、不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要：文科省

4

高等学校における不登校の状況について

● 高等学校における不登校生徒数は68,770人（前年度60,575人）であり、1,000人当たりの不登校生徒数は、23.5人（前年度20.4人）である。

不登校生徒数の推移

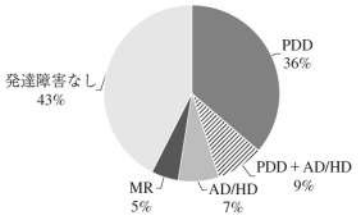


● 90日以上欠席した者は、不登校生徒数の15.7%である。

令和5年度児童生徒の問題、行動、不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要：文科省

5

小児科を受診した不登校児80名への調査



40％以上にPDD（広汎性発達障害）
全体の87％が未診断

図2　不登校児が発達障害を有する割合とその分類
不登校を主訴に受診した患者（n＝80）の57%が発達障害を有しながらもその87%が診断を受けていなかった.
PDD：pervasive developmental disorder，AD/HD：attention-deficit/hyperactivity disorder，MR：mental retardation

鈴木他,不登校と発達障害：不登校児の背景と転帰に関する検討,脳と発達,2017:49:255-9

6

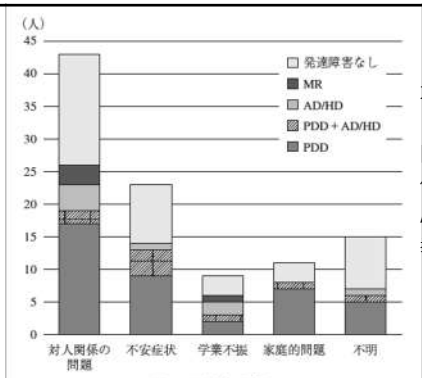
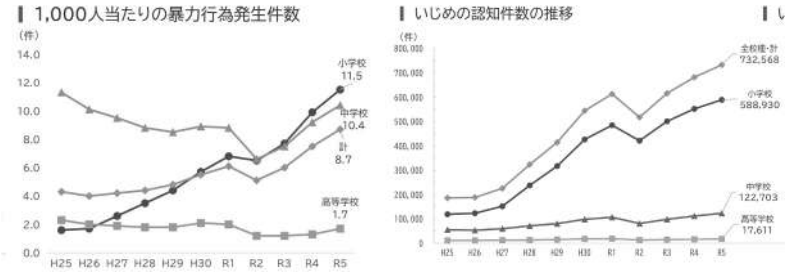


図4　不登校の誘因
不登校には複数の誘因が混在し，対人関係の問題を契機とする例が最も多かった（複数回答）.
PDD：pervasive developmental disorder，AD/HD：attention-deficit/hyperactivity disorder，MR：mental retardation

不登校の誘因を対人関係の問題と答える例が最も多かった
PDD群：
仲間外れなど子ども同士の問題
ADHD群：
教師のからかいの言葉がきっかけ

鈴木他,不登校と発達障害：不登校児の背景と転帰に関する検討,脳と発達,2017:49:255-9

7



令和5年度児童生徒の問題、行動、不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要：文科省

8

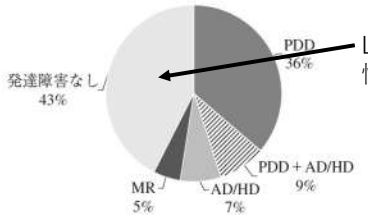
LDおよびADHDと不登校の関連

	LD診断あり	ADHD診断あり
小学校	34.5%（10名/29名）	2.3%（1名/43名）
中学校	59.5%（25名/42名）	39.4%（13名/33名）

小枝.心身の不適応行動の背景にある発達障害.発達障害研究23(4).2002

9

小児科を受診した不登校児80名への調査



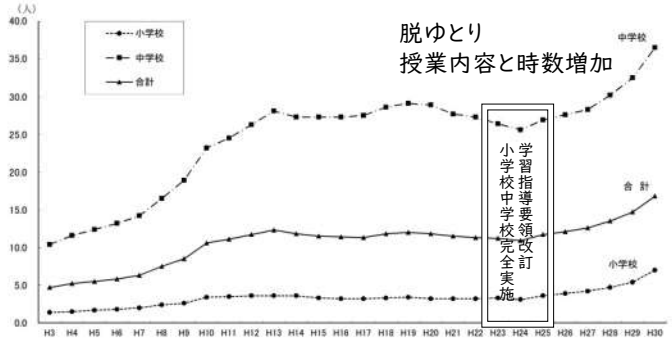
LD児が多く含まれる可能性

図2　不登校児が発達障害を有する割合とその分類
不登校を主訴に受診した患者（n＝80）の57%が発達障害を有しながらもその87%が診断を受けていなかった.
PDD：pervasive developmental disorder，AD/HD：attention-deficit/hyperactivity disorder，MR：mental retardation

鈴木他,不登校と発達障害：不登校児の背景と転帰に関する検討,脳と発達,2017:49:255-9

10

<参考2>　不登校児童生徒の割合の推移(1，000人当たりの不登校児童生徒数)

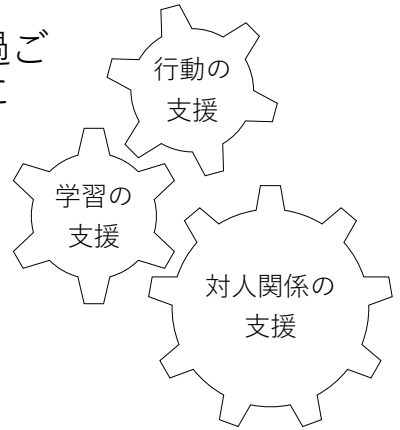


（注）調査対象：国公私立小・中学校（小学校には義務教育学校前期課程，中学校には義務教育学校後期課程及び中等教育学校前期課程，高等学校には中等教育学校後期課程を含む。）

平成30年度　児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について：文部科学省初等中等教育局児童生徒課,令和元年10月

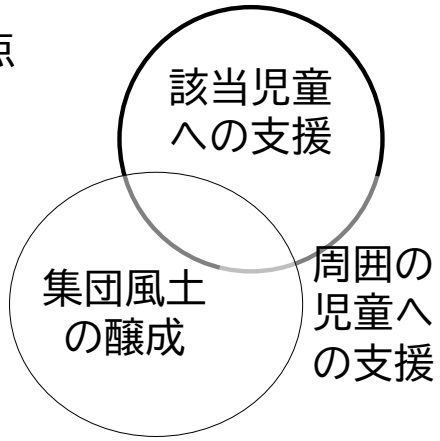
11

全ての子どもたちが過ごしやすい学校のために



12

支援の3視点



13

学業的技能の困難さ

聞く
推論する
話す
計算する
読む
書く

文部科学省；調査研究協力者会議による定義；1999

14

読み書きの難しさが与える学校における不利



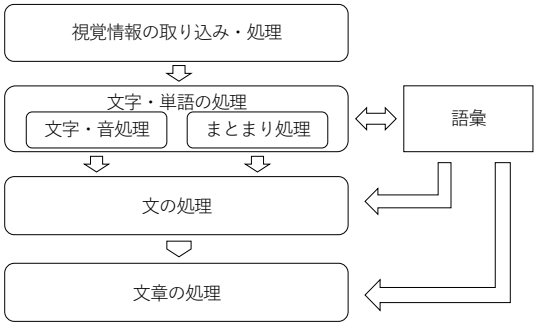
15



活動時間を要する
誤りが増える
滑らかに読めない
報われなさ
羞恥心
社会スキルの育ちにくさ
出来映えが悪い
口先ばかり

16

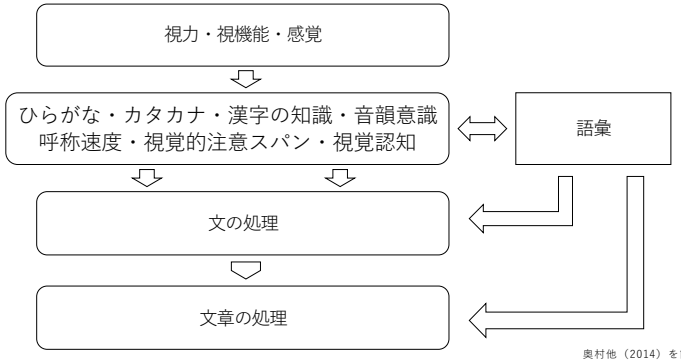
読みの情報処理過程



奥村他（2014）を簡略化・改変

17

文字・単語処理の段階での問題



奥村他（2014）を簡略化・改変

18

ディスレクシアの中核症状

音韻処理（デコーディング）の障害

文字・文字綴り（単語）を
音声に変換すること

黙読時にも内的に行なっている

19

「読む」

- 文字を滑らかに読めない体験
- 読むことと理解することの違い

なぜなのでしょう

その時子どもはどんな気持ちに？

我々教師はどんな支援が出来るのでしょうか？

20

就学前の音韻意識の発達

年齢	課題	例
4歳半	直音節で構成された単語の音韻分解、語頭音の抽出	兎は/u//sa//gi/の３つのモーラから構成されることがわかり、最初の音は/u/であることがわかる
5歳前半	語中音がわかる	兎は３つの音から構成されていることがわかり、中の音は/sa/であるとわかる
5歳後半	２モーラ語の逆唱	「“うし”を逆さまからいうと？」に対してい「しう」と答えられる
6歳	３モーラ語の逆唱と削除	逆唱：「“たぬき”を逆さまから？」に対して「“きぬた”」と答えられる 削除：「“せなか”から“な”を取ると？」に対して「“せか”」と答えられる

原恵子,学習障害：発達性読み書き障害を中心に,言語発達障害,2016

21

早期アセスメントのための５項目

1	**文字を読むことに関心がない** **（絵本の絵を見るだけで文字を読もうとしない）**
2	単語の発音を正確に言えないことがある （トウモロコシ→トウモコロシ　クリスマス→クスリマスなど）
3	自分の名前や言葉を言いながら一歩ずつ進むような遊びができない （じゃんけんグリコなど）
4	歌の歌詞を覚えることに苦労する （歌詞の理解に関係なく）
5	文字や文字らしきものを書きたがらない、書くことに関心がない

年長児で一つでも当てはまると読み書き障害のリスクが高い　感度特異度>85%

北洋輔,国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

22

MIMとは
Multilayer Instruction Model
（多層指導モデル）

海津亜希子他,読みのアセスメント・指導パッケージ,学研より抜粋

23

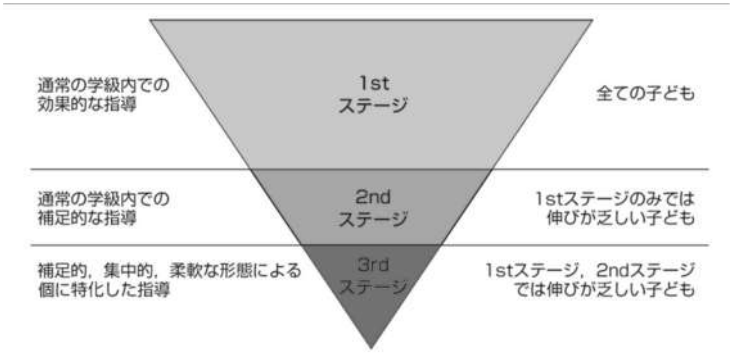


図1　通常の学級における多層指導モデルMIM(Multilayer Instruction Model)

◆定期的なアセスメントと科学的で効果的な指導の融合

海津亜希子他,読みのアセスメント・指導パッケージ,学研より抜粋

24

MIM-PM
(Progress Monitoring)

◆月に一度の評価
◆テスト１とテスト２
◆所要時間は５分間
◆パソコンでデータ管理
◆子供→ステージに応じた指導
◆教師→自己の指導の効果測定

海津亜希子他,読みのアセスメント・指導パッケージ,学研より抜粋

25

特殊音節の指導について

26

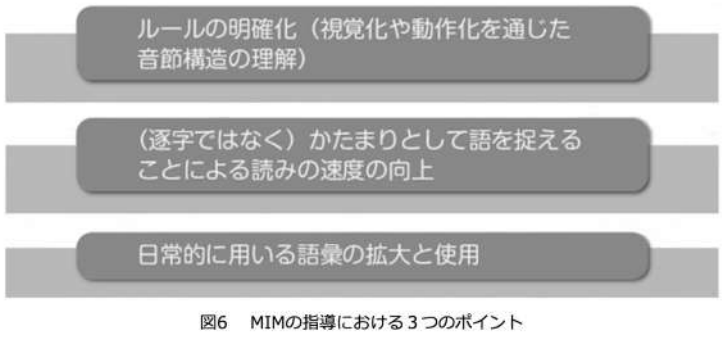
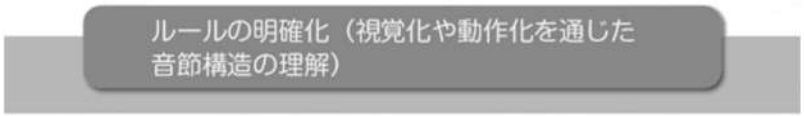


図6　MIMの指導における３つのポイント

MIMの指導における３つのポイント

海津亜希子他,読みのアセスメント・指導パッケージ,学研より抜粋

27



◆視覚化で「音ー文字」
の対応を図る

海津亜希子他,読みのアセスメント・指導パッケージ,学研より抜粋

28

（逐字ではなく）かたまりとして語を捉えることによる読みの速度の向上

- 言葉遊びなど楽しく取り組める課題が多い
- 掲示資料もあり

海津亜希子他,読みのアセスメント・指導パッケージ,学研より抜粋

29

日常的に用いる語彙の拡大と使用

- 多彩な教授ツール
- 具体的な指導例

海津亜希子他,読みのアセスメント・指導パッケージ,学研より抜粋

30

なぜMIMか　これまでは

子どもが困ってから支援していた

学習になかなか集中しない
漢字の定着が悪すぎる
文章題の理解がすんなりと行かない
学習意欲が低く宿題をやってこない
登校を渋っている

31

つまずく前に助けよう

32

特殊音節の
読み困難は
高学年まで
継続する

下位25%は学年が上がっても苦手なまま

海津亜希子他,読みのアセスメント・指導パッケージ,学研より抜粋

33

読み書き障害の予測

音韻認識能力

視覚認知能力

RAN能力

検査に時間や費用が必要でスクリーニングが難しい

就学後の読み書き能力を予測する

34

幼児期の支援のポイント

- 読みの素地を養う
- 読むと楽しいという体験
- 日々の遊びの工夫

文字の教え込みをするのではない！

35

遊びの中に学びにつながる要素

じゃんけんグリコ　しりとり遊び
読み聞かせ　かるた取り

音韻認識能力

視覚認知能力

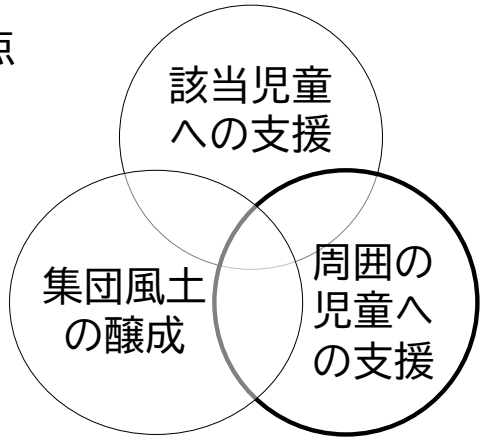
RAN能力

あやとり　お手玉
園庭遊び

早口言葉遊び
歌あそび

36

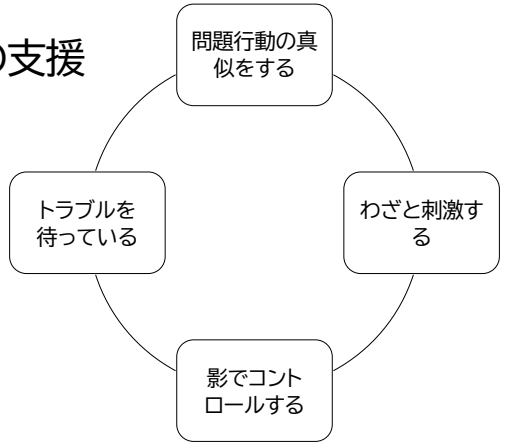
支援の3視点



37

周囲の児童への支援

・模倣犯タイプ
・天敵タイプ
・影の司令塔タイプ
・ギャラリータイプ



阿部利彦編著 通常学級のユニバーサルデザインプランzero 東洋館出版社 2014

38

問題行動の真似をするタイプへの対応

学習理解弱い
幼い
関わりを求める

・めあてや授業の流れの明示をすることで、学習の見通しを持たせる

・個別のプリントなどを活用した学習支援

・座席は前中央あたりで教師とのやりとりがしやすく、周囲へ気が向かないようにする

39

わざと刺激するタイプへの対応

注意が移りやすい
リーダーに憧れる
規範意識強いこと

・正しいことを伝えていることも多いことを理解する

・児童がリフレーミングの視点を持てるような関わり

・座席は前方で学習内容へ集中できるような配慮を

40

影でコントロールするタイプへの対応

周囲の視線に敏感
言語能力高い
学校内外の立場への不全感

・積極的に対話の機会を設ける
・リーダーとしての役割を与える
・教員間での情報共有　見守り

41

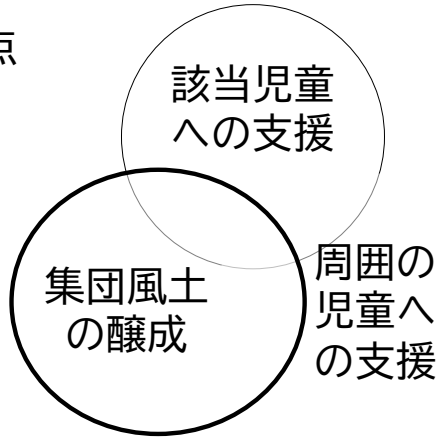
トラブルを待っているタイプへの対応

規範意識あり
教師からの関わりが少なかった

判断に迷っていることを理解
学級風土を正常化する味方
学びのルールの定着・自学スキルの向上

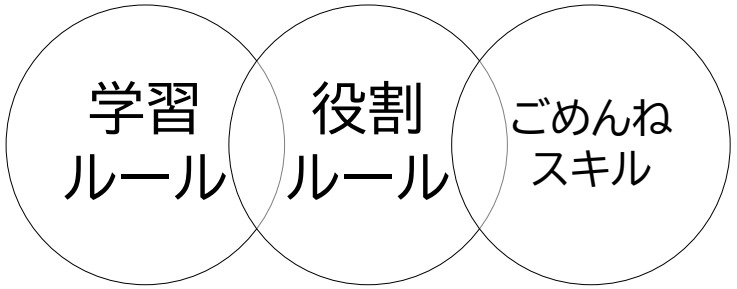
42

支援の3視点



43

低学年の集団風土を高めるために



44

学習ルール

- 始まりの時間の遵守
- 準備するものや机上の置き方のルール
- 発言の仕方
- 引き出しや棚の使い方
- プリントの始末
- などなど

→ 見える化で安定安心

45

役割ルール

- 一人一役
- 些細なことでも全然OK
- 活動する時間を設けて全員で

→ みんなが役に立っている

46

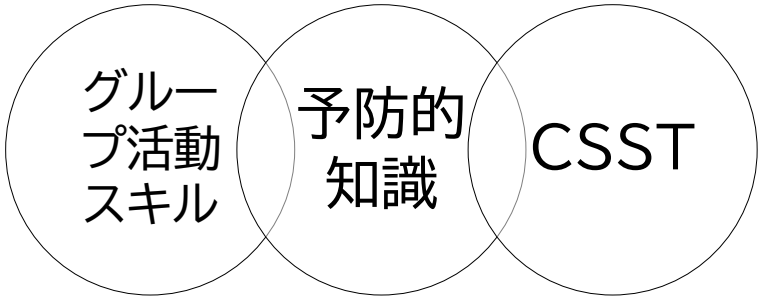
ごめんねスキル

・ごめんね
・いいよ
・ありがとう

→ 子どもは許容教師が指導

47

中学年の集団風土を高めるために



48

グループ活動スキル

・自治意識の芽生えを活用する
・3、4人組で
・やりとりを通して自分たちで判断する経験
・失敗したり成功したりする経験

ポジティブ
ギャング

49

予防的知識

・トラブルが起こる前に確認
・理由の共有
・あるある話で内省
・共通理解の広がり



ロンクラーク,みんなのためのルールブック,草思社

転ばぬ先の杖

50

SSTはクラスワイドで

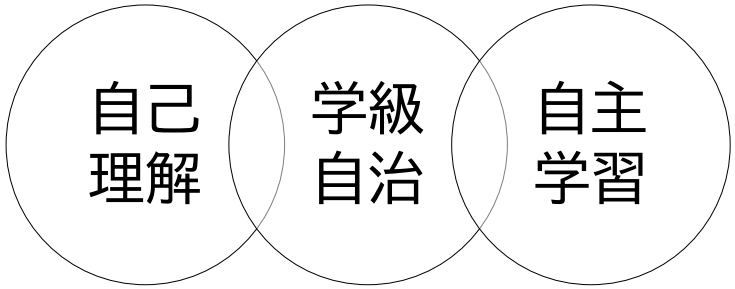
・行動の学びを全員で
・支援ニーズのある子もスキルを使いやすい土壌を作る
・日々の振り返りで汎化を図る

行動の
共通言語

https://www.dropbox.com/s/z7irzmng46rc4w9/201129CSST%E9%85%8D%E5%B8%83%E8%B3%87%E6%96%99.pdf?dl=0

51

高学年の集団風土を高めるために



52

自分を知る他人を理解する

・自分自身を知る
・他人から見た自分を知る
・他人との関わり方を考える

構成的グループエンカウンター



自己概念の形成

53

学級自治

・中学年で高めた班活動スキルを学級自治活動に発展
・より過ごしやすい環境をともに作る意識
・学級から、学年、学校全体へ



自分たちが変えられる

54

自主学習

・自主的自発的な学び
・自分でコーディネートする学び

・他者の良さを知る

・苦手な子には鬼門
・メニュー化で対応



学びで高め合う

55

ゲームにハマって昼夜逆転

Jさん（18歳男性）は、ASDの患者さん。

ネットゲームにハマり込んでいて、寝食を忘れてゲームばかりしています。
慢性的な睡眠不足にもなっています。
家族が心配する声にも耳を貸さず、将来の見通しなどほとんど見えていません。

発達障害の人が見ている世界：岩瀬俊郎,アスコム,2023

56

考えてみましょう

Jさんはなぜこのような状況になっているのでしょうか

あなたはどのようにJさんに関わりますか？

発達障害の人が見ている世界：岩瀬俊郎,アスコム,2023

57

Jさんは・・・

ゲームをしている時が
「生きてる」と実感できると
感じている。

これまでの生きづらさは
ゲームと出会って変わった。
この世界なら信じられる。

発達障害の人が見ている世界：岩瀬俊郎,アスコム,2023

58

何かに没頭する特性は、専門分野でスペシャリストになる可能性にも通じます。

ただし、生活に支障をきたしてしまうようであれば対応が必要です。

発達障害の人が見ている世界：岩瀬俊郎,アスコム,2023

59

無理にやめさせようとすると、反発しか生みません。

話し合うのは落ち着いている時

頭から否定せず、まずは応援していると伝えましょう。
その上で、日常生活と「好き」を両立する方法を、本人の意見を取り入れて話し合うことが大切です。

発達障害の人が見ている世界：岩瀬俊郎,アスコム,2023

60

子どもが何かにハマったら、応援する気持ちを見せながら、妥協点を見出しましょう。

発達障害の人が見ている世界：岩瀬俊郎,アスコム,2023

61

さらに

ゲームの世界で本人が慕っている先輩に協力してもらって
体験談やアドバイスをもらうことも効果的です。

カリスマティックアダルトの存在

発達障害の人が見ている世界：岩瀬俊郎,アスコム,2023

62

自分かも!?と思ったあなたへ

強制的に現実に戻される仕組みを使おう

・アラーム機能を使ったり、タイマーで音楽が流れたり止まったりする仕掛けで、現実に引き戻してもらいましょう。
・ご褒美ボックスなどの活用も効果的です。

発達障害の人が見ている世界：岩瀬俊郎,アスコム,2023

63

青年期の発達課題

- 自己概念の形成
- アイデンティティーの確立
- ライフキャリアの形成

64



①自己概念の形成

自分自身が知っている自己の特徴

他人から見た自己の特徴

自己概念の形成

65

現実自己と理想自己

現実自己
現実の自分に対するイメージ

理想自己
理想の自分に関するイメージ

不一致は葛藤を生むが、その葛藤を解消することで安定した自己イメージが形成される。

自尊感情の形成（self-esteem）

66

②アイデンティティの獲得

アイデンティティとは

自分は何者かという自問に対する確信的な答え

段階	目安となる年齢	発達課題	課題を達成した結果
乳児期	1歳まで	基本的信頼感VS不信	基本的信頼感を獲得する
幼児期前期	1歳から3歳くらい	自律性VS恥・疑惑	自分の欲求をコントロールすることができる
幼児期後期	3歳から6歳くらい	自発性VS罪悪感	自分の意思で物事に取り組めるようになる
児童期	6歳から10歳くらい	勤勉性VS劣等感	やればできるという自信がつく
青年期	10歳から20歳くらい	アイデンティティの確立VS拡散	自分が何者であるかに対する考えを持つ

エリクソンの心理社会的発達理論の段階

67

確立に必要な2つの経験

「積極的関与」
自分は何者かと言う問いに対してその答えを積極的に見出そうとする姿勢

「危機」
自分自身が何者でこれから何をしていきたいのかが分からなくなる経験

○危機
○積極的関与

「モラトリアム型」危機を現在経験しているが積極的関与をしていないタイプ
「フォークロージャー型」積極的関与はしているが危機を経験していないタイプ

アイデンティティの確立

68

③ライフキャリアの形成

- その時期に求められる適切な能力やソーシャルスキルを身に付け、自分らしい生き方を選択していく過程

個性を伸ばす

可能性を狭めない

人間関係形成能力

情報活用能力

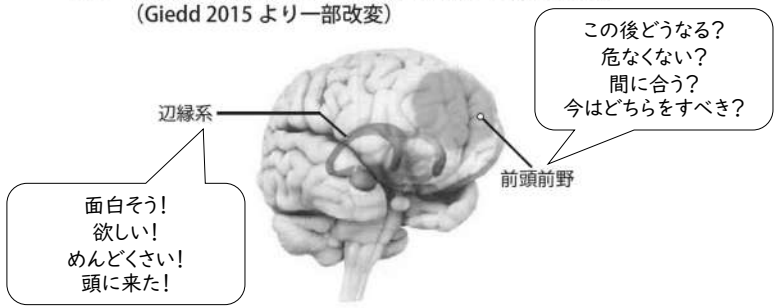
将来設計能力

意思決定能力

69

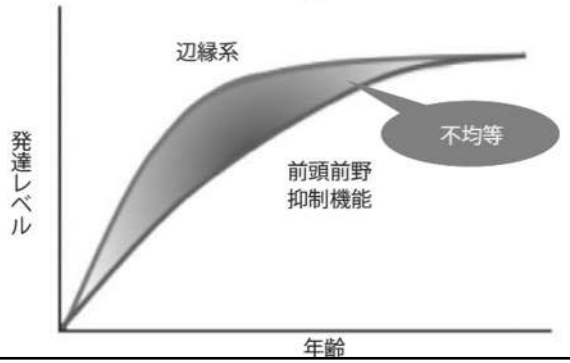
なぜ若者は欲望に弱いのか

図３　思春期には前頭前皮質の抑制機能がいったん弱まる
（Giedd 2015 より一部改変）



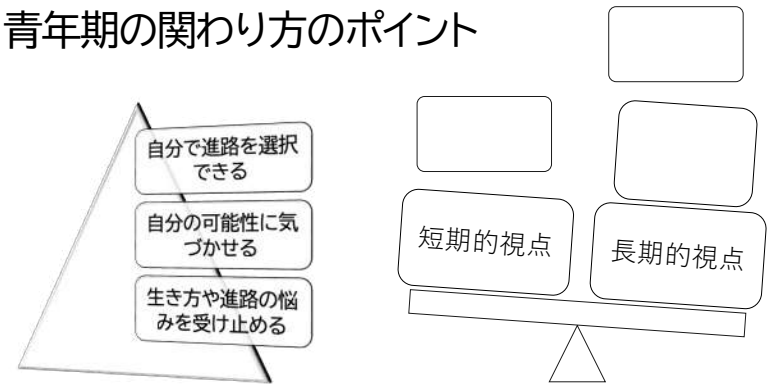
70

感情が優先し、抑制が遅れて成長する



71

青年期の関わり方のポイント



72

誰もが過ごし
やすい学校へ

該当児童
への支援

集団風土
の醸成

周囲の
児童へ
の支援

73

人の発達は連続体です

落ち着きが
ない

関わり苦手

漢字を覚えるの
が苦手

○ゆっくり学んでいるのか
○サポートが必要なのか
○別の方法が必要なのか

落ち着いて
いる

関わり得意

漢字を覚えるの
が得意

74

2025年度
ルーテル・リカレント講座
（第1回）

ちょっと気になる子どもたちの理解と支援

アンケートのお願い

本日は、ご参加いただきありがとうございました。
今後の公開講座をより良いものとするため、
アンケートにご協力ください。

以下のURLもしくはQRコードから、
アンケートフォームにご意見を入力してください。
https://forms.gle/5vUM5vH8t2VzULeS9

九州ルーテル学院大学
　総務課研究・地域連携推進室

三びきのやぎのがらがらどん





くれよんのくろくん

ダンスや歌

お土産もあるよ！！

九州ルーテル学院大学

2025 第13回

入場 無料

こどもフェスティバル

2025年 8月 9日(土)

開場：９時30分　開演：10時00分

場所：九州ルーテル学院大学 チャペル

こどもたちが楽しめるオペレッタ（音楽劇）
を保育学生で制作しました。
元気なお友だち・保育に興味のある小中高生・
一般の方など沢山のご来場お待ちしております。
楽しい時間を一緒に過ごしましょう！！

申込み QRコードおよびお電話による事前申し込み、

お願い 当日参加も大歓迎！

お問い合せ＆お申し込み

駐車場はございませんので近隣のパーキングまたは公共交通機関のご利用をお願いいたします。
QRコードでのお問い合わせが難しい方は下記の連絡先までお願いいたします。
TEL.096 −343 −1600

大学HP

主催：九州ルーテル学院大学人文学部人文学科　保育・幼児教育専攻